

12月に行われたイベントなどについて お知らせします

第18回日光市駅伝競走大会

12月17日(日)、第18回日光市駅伝競走大会が開催されました。

一般の部は日光運動公園スタート、中学生の部は旧鬼怒川有料道路スタート。ともに藤原行政センターを目指す、一般の部28・6km、中学生の部12・5kmのコースです。強風が吹く冬晴れの中、選手たちは汗を流しながら懸命に前を向いて走り抜け

ました。

中学生の部は、6名中4名が区間賞を獲得した東原中学校が初優勝。一般の部(支部対抗)は、大沢支部が大会新記録で初優勝しました。大沢支部代表の渡邊さんは「コロナ禍でも選手たちが日頃の練習に励み、団結してくれた結果が出ました」と話してくれました。



棒をつなぐ豊岡支部の選手



ゴールテープに飛び込む
東原中2年生の菊池侑汰さん

日光市障がい者 文化・芸術展

12月4日(月)～8日(金)、日光市障がい者文化・芸術展が開催されました。

この展示は、12月3日～9日の障害者週間にあわせて、障がいのある方への理解を深め、創作意欲の向上や社会参加の促進を目的に、障がいのある方が制作した思い思いの作品が展示されました。



一生懸命作品を制作しました!

日光ナンバープレート 図柄デザイン案決定

12月19日(火)、日光市と塩谷町において導入を進めている、ご当地ナンバー「日光ナンバー」の図柄デザイン案を発表しました。同案は、全国から応募があった作品の中から決定したものです。

日光ナンバープレートは、国土交通省の審査後に、令和7年5月から交付開始予定です。



小林千晶氏(宇都宮市)作
図柄デザイン案「歴史と伝統」

鬼怒川・川治温泉ゆず湯風呂 柚子ほの香

12月16日(土)・17日(日)、「鬼怒川・川治温泉ゆず湯風呂」柚子ほの香」が行われ、2日間で県内産のゆず235kgが使用されました。

鬼怒川・川治温泉は、透明の単純温泉で、ゆずとの相性もとてもよく、またゆず湯は血行を促進させて、体を芯から温める効果が期待できるそうです。



ゆずの香りが疲れた体を和らげます♪

わたらせ渓谷鐵道 各駅イルミネーション

令和5年12月3日～令和6年2月29日まで、わたらせ渓谷鐵道各駅で、沿線の風物詩となったイルミネーションの点灯が行われています。

みどり市から間藤駅に訪れていた井上さん(観光ガイドの会)は、「地域の方や事業者の方が、頑張って装飾をしているので、多くの人に見に来てほしい」と話してくれました。



間藤駅のホームでシャッターを切る乗客



足尾の冬を灯し続ける光にかける想い

装飾した保存車両と岡本さん(左)、須永さん(右)

一般社団法人あしおトロッコ館 理事
おかもと のりゆき すなが ひでお
岡本 憲之さん・須永 秀夫さん

10年ほど前に「わ鐵」のことを市民の方に知ってもらおうきっかけになれば」という思いから、足尾駅のイルミネーションを担当しています。

須永 当初は、装飾の仕方がわからず苦労しました。

はじめは、足尾町わたらせ渓谷鉄道協力会から電飾が配られていましたが、最近では、不要になった電飾の寄付なども活用しながら活動を続けています。

岡本 私は17年前から、足尾で鉄道保存のボランティアをしています。現在は、古河足尾歴史館の一角で足尾ガソリン軌道歴史館線とトロッコ展示場の管理運営、わたらせ渓谷鐵道(以下、「わ鐵」という)足尾駅で車両保存の活動を行っています。

須永 装飾は10名程度で約4日間かけて行います。その前に、私1人で2カ月かけて、電球の点灯チェックや装飾品の動作確認などを行うのも大変な作業です。また、足尾駅は駅舎やプラットホームが国の文化財に登録されているため、駅舎の梁に電球を括るときも、梁を傷めないように細心の注意を払いながら作業しています。

岡本 イルミネーションは、基本的に有志で行っているため、費用面や人的な支援などを一切受けていません。私たちも高齢化が進み、高所作業などが難しく、やむなく年々規模を縮小しています。

岡本 足尾駅は駅舎だけでなく、貨物ホームの装飾も行っています。貨物ホームは乗客からは見えない場所なので、普段わ鐵を利用しない市民の方も、ぜひ見に来てほしいです。また、足尾駅の歴史的建造物としての雰囲気や、御座る電飾は点滅させないようにするなど、情緒に



岡本 足尾駅は駅舎だけでなく、貨物ホームの装飾も行っています。貨物ホームは乗客からは見えない場所なので、普段わ鐵を利用しない市民の方も、ぜひ見に来てほしいです。また、足尾駅の歴史的建造物としての雰囲気や、御座る電飾は点滅させないようにするなど、情緒に配慮している点も、ぜひ注目して見てほしいです。

須永 装飾の数は全体的に縮小していますが、貨物ホームに流れ星の装飾を設置したり、キハの車内装飾を増やしたりするなど、今年から追加した装飾もあるので、以前見に来てくれた方も楽しめますよ。

岡本 イルミネーションを通して足尾駅と地域住民の方々とのつながりを持つてほしい、と強く願っています。その際にはぜひ、わ鐵も利用してみたいですね。

須永 見に来てくれる方のために、できるだけイルミネーションを継続していきたいです。

♥ **インタビューを終えて**

今や、足尾地域の冬の風物詩となっている各駅イルミネーション。足尾を照らす明かりたちは、足尾地域に対する強い想いのある皆さんの尽力によって作り出されていると感じました。イルミネーションは、2月29日(木)まで行われているので、ぜひ足を運んでみてください。

毎年、足尾の駅を彩るイルミネーションは今年で20周年を迎えます。地元市民や事業者が有志で各駅を担当し、足尾の夜に明かりを灯し続けています。今回は、足尾駅を担当している「(一社)あしおトロッコ館」の2人に話を伺いました。

わたらせ渓谷鐵道を 知ってもらおうきっかけに

2カ月前から入念な準備



※電飾は、わたらせ渓谷鐵道各駅イルミネーション事業実行委員会からも支給されています。